



2024年2月7日

各位

会社名 **ネツレン**
 高周波熱錬株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 大宮 克己
 (コード番号 5976 東証プライム市場)
 問合せ先 管理本部経理部長 篠原 秀明
 (TEL . 03 - 3443 - 5441)

2024年3月期 通期連結業績予想の修正 及び第15次中期経営計画の数値目標見直しに関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、下記のとおり2023年5月11日に公表した2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の通期連結業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

また、2024年3月期が最終年度となる第15次中期経営計画の数値目標について、このたびの通期連結業績予想修正後の数値にあわせるための見直しについても本日開催の取締役会において決定いたしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期 通期連結業績予想の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年5月11日発表)	63,000	2,800	3,300	2,000	53円04銭
今回修正予想(B)	58,100	1,700	2,600	1,600	44円19銭
増減額(B-A)	4,900	1,100	700	400	
増減率(%)	7.8	39.3	21.2	20.0	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	57,524	2,396	3,088	381	9円89銭

2. 修正の理由

売上高につきましては、材料・電力費など高騰したコストの販売価格への転嫁を継続してまいりましたが、一部自動車メーカーの出荷停止などにより自動車関連の販売量に影響が生じております。

また、製品事業部関連事業の土木・建築関連製品における建設資材高騰による工事案件の後ろ倒しや人手不足及び労働時間規制の影響による建設工事の進捗遅れがあり販売量が低下したこと、建設機械関連製品が日本、中国ともに建設市況低迷による小型・中型機種の販売量が低下したこと、さらに、海外各拠点の自動車関連製品が主要顧客の生産台数の伸び悩みなどで販売量が低下しており、いずれの事業も当初計画を下回る見通しとなりました。

I H事業部関連事業の熱処理受託加工におきましては、工作機械業界からの受注が顧客の在庫調整などにより減少、さらに、これまで堅調であった大型建設機械向けの受託加工が下期後半以降は減少の見込みとなるなど、当初計画を下回る見通しとなっております。

このことから、両セグメントの売上予想を見直し、前回発表予想を修正いたしました。

利益面につきましては、販売価格の改定を進めているものの、原材料・エネルギー価格の高止まりなどによるコスト負担増が想定以上に利益を圧迫しております。また、上記のとおり、製品事業部関連事業の各事業において当初計画した販売量に至らず固定費負担が増加したこと、I H事業部関連事業の工作機械向け受託加工が当初計画を大幅に下回っていることなどを踏まえ、前回発表予想を修正いたしました。

このような厳しい事業環境ではありますが、当社グループは、販売価格の改定や原価低減方策をより一層推進することで収益の確保に努め、企業価値の向上を図ってまいります。

3. 第15次中期経営計画の連結数値目標の見直し

当連結会計年度が第15次中期経営計画の最終年度となるため、上記の通期連結業績予想の修正に連結数値目標をあわせるための見直しとなります。

(単位：百万円)

	今回見直し計画	見直し前の計画
売上高	58,100	63,000
営業利益	1,700	2,800
営業利益率	2.9%	4.4%
ROA (総資産経常利益率)	3.3%以上	4.2%以上
ROE (自己資本当期純利益率)	3.0%以上	3.4%以上

以上

業績予想等の適切な利用に関する説明

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。